

経済産業大臣 平沼赳夫様
原子力安全・保安院長 佐々木宣彦様
資源エネルギー庁長官 岡本 巖様

2002年10月18日

双葉地方原発反対同盟

代表 石丸小四郎



東京電力による原発ひび割れ隠しと

点検記録改ざん問題に関する申し入れ書

東京電力は一連のひび割れ隠しと点検記録改ざんばかりか、福島第一1号や同第二各号において原子炉格納容器の気密試験データをねつ造して合格証を得ていたと報じられています。

まさに不正は止まることを知りません。もはや電気事業者として犯してはならない行為であるとの認識さえ喪失しているともとの見るべきです。

以下、原発所在地住民として大きな危機感を持ち、申し入れますので貴職の誠意ある対応を求めます。

記

1. 保安院の「不正はあったが安全上は問題ない」と運転継続を認めつつ、告発を見送った姿勢は到底容認できません。かかる姿勢こそ国際評価尺度レベル1以上の事故を頻発させ、国民の原発離れと原子力政策の自壊を促していることを自覚し事に当たるべきです。
2. 国民の生命の問題に直結する原子力安全行政の改革を行うこと。とりわけ、資源エネルギー庁・原発地域担当事務所の安全宣伝と推進一辺倒の姿勢を改めるべきこと。
3. 各原発で実施されている定期検査の短縮と1994年ころから多発している事故隠し・記録改ざんは無関係とは言えないので同検査の短縮を禁止すること。
4. 運転基準を緩和させる維持基準の導入は行わず、経年老朽原発は順次廃炉とすべきこと。
5. すべての原発の運転を中止し、第三者の調査機関を設立し徹底調査を実施すること。
6. このたびの事件を契機としてプルトニウム利用政策からの離脱、六ヶ所再処理工場の建設中止など原子力政策の転換を図ること。
7. 自然エネルギーの促進政策と制度の導入を早めること。

以上